

紋等を裝飾せりといふ

鼈甲細工の術は古來吾が邦に開け獨櫛簪のみならず菓子皿、香盒、酒盃、手鹽皿其の他種々の弄玩物をも鼈甲を以て之を造り其の術極めて巧妙なりとすシモント氏の海産論に日本にては漆を以て鼈甲の食籠、手箱類を塗り又は鼈甲を鍍にして粧飾とす我が英國にては未だ其の製法を知らず速に其の術を學びて製造を爲さるべからずといへるを見ても本邦の鼈甲細工に有名なるは推て之を知るべし。

たいまいは印度洋其の他熱帯の海洋に栖息す本邦にては琉球近海に多し上野博物館に陳列しある標本は即ち琉球産にして大さ僅に尺餘に過ぎず初め同館にては海魚を餌にして鹽水に飼ひ養ふこと半年餘に及びしが寒氣の爲に終に斃れたるものなりといふ。

日本化したる外國語

擊水生

何れの國で見ても、其國語には必ず、二様の別がある。一は其國固有の言語で、一は外來の言語である。別の言葉で、言つて見れば、一は本來言語で、一は傳承言語である。傳承言語は即外來の言語で、或國民が外國と交際するうち、知らず識らず其國の言葉を使用して遂には殆んど本來言語即自國の固有語と同じ様に使用する様になつたものである。

だから、他國と交際が頻繁であれば、あるほど其國の言語には傳承言語が多い譯である、例せば歐羅巴諸國で見ると、各國民は互に古くより交際して居るのみならず、其人種も互に混合錯雜して居るから、従つて歐洲各國の言語には、其傳承語が多い。之等の傳承語はそうなると、全く其國の語同様に取り扱はれる様に

なるのである。

そこで、我國の國語は、さうかといふと、歐洲諸國から見ると比較的に傳承語は、數が少ない。なせかといふと、我國民は比較的に他國と交際することが少かつたからである。夫にしても吾々の普通に使つて居る言葉の中には随分澤山な外來語が交つて居る、勿論支那語は今日、殆んど、普通語として筆にも、口にも使用して居る譯であるが、其他に、印度語と歐洲語と東洋諸國語との如きが知らず識らず日常の言語として使つて居るのが甚、多數である。で、其うちには、極近來渡つて來たのは勿論吾々は純粹に外國語と心得て居るのではあるが、古いものに至ると殆んど我が本來語の様に思ひ違へて居るものもある。今日の學者學生の間には日常の言葉の中へ態々英語や獨逸語を交せて話すことが流行りもするし且つ實際便利なこともあるから甚

行はれて居るが之等も暫すると普通に用いられる國語となるのである。

で、今左に我國語の中に導かれて來て居る外來語の主なもの拾うて見ることにした。

- | | |
|------------|----------------|
| シャツ。英語 | Shirts |
| シャツボ。佛語 | Chapeau |
| 合羽。スペイン語 | Capa |
| 釦子。ポルチユガル語 | botan |
| ガラス。英語 | glass |
| 短艇。スペイン語 | batel |
| 麪包。ポルチユガル語 | Pan |
| 天鵝絨。スペイン語 | Veluda |
| 葉鐵。和蘭語 | Blik |
| メンシ。英語 | Sewing machine |
| メリンス。スペイン語 | Merino |

洋燈 ランペン 英語 ランプ Lamp

ランビキ。和蘭語 ランビク Lanbique

カンテラ 和蘭語 カンテラ Candelaar

骨牌。スヘーン語 カルタ Carta.

ロップ、和蘭語 ロップ Kopp

石鹼 シヤボソ スヘーン語 シャボソ Xabon

(未完)



講義

育兒學講義

中村 五六

はしがき

しろかねも、こがねもたまも、なにせんに、まじ
れるたから、こにしかめやも。

世の中に、たからといふたから數ある中にも、子
もほご尊とさものはありませぬ。俗言にも、萬のく
らより子はたから」と申すことがありまして、親た
るものが自ら其の子を愛して育て、尊とみて教へ、
家の柱ともなり、國の棟ともならんことを願へるは
昔も今も我國も外國も皆同じきことであります。既
に子どもは國家の大切なるたからたることを知り、
これを愛することは、人皆自然の情に出て殆ど一樣
なれども、これを取扱ふこと其の當を得ぬものは甚
だ尠からぬやう思はれます。是れは其の方法を辨へ
ざるに依ることもあり、或は知りながらも愛に弱れ
て正しさを失へるに歸することもありませう。併し
或は初より真に其の尊さものを知らず、徒らに
書畫骨董の類を愛重する人なしとも限りませぬ、さ
りとは歎かはしきことでありませぬか。